
苫小牧市美術博物館 年報

第10号 (令和4年度)

苫小牧市美術博物館
Tomakomai City Museum

苫小牧市美術博物館 年報10号 目次

1	事業報告	1
	(1) 展示事業	1
	(2) 教育普及事業	4
	(3) 資料の収集・保存	7
	(4) 調査・研究活動	10
	(5) 広報・CS向上	11
	(6) 市民協働	11
	(7) 埋蔵文化財の保護	12
	(8) 展示室貸出事業	12
	(9) 大会への参加事業・研修	12
	(10) 市史編纂事業	12
2	入館者	13
3	令和4年度決算	14
	(1) 歳入	14
	(2) 歳出	14
4	令和5年度予算	15
	(1) 歳入	15
	(2) 歳出	15
5	施設の概要	16
	(1) 沿革	16
	(2) 施設見取り図・概要	18
	(3) 組織	19

はじめに

苫小牧市美術博物館《あみゅー》は、2013年7月にリニューアルオープンして今年10周年を迎えました。

「樽前山麓と勇払原野の自然と文化」を主軸とする博物館事業に加え、「市民に開かれ」「子どもたちの感性を育む」「文化芸術活動の拠点として」を基本理念とする美術館事業を実施し、各種特別展、郷土に根ざした作家を紹介する企画展のほか、中庭を利用した新進気鋭の作家による屋外展示などを展開してまいりました。

博物館時代から実施してきた郷土の自然・考古・歴史に関連する展覧会についても学芸員の調査研究の公表の場として継続するほか、各種教育普及事業も実施しております。

このように多岐にわたり事業を展開できたのも、企業・各館園及び研究機関、各種団体・個人の皆様のお力添えのおかげと、この場をお借りして厚くお礼申しあげます。

本号では、2022年度の事業内容を記載しております。特別展ではトヨタ自動車北海道株式会社創業30周年記念事業として特別展「芸術の都ウィーンとデザインの潮流」と、苫小牧市科学センターに谷内六郎が原画を手掛けた壁画《芽の出る音》が設置されてから50周年を記念した「壁画《芽の出る音》設置50年記念 谷内六郎展」を開催しました。企画展は、当館所蔵のアイヌ刀関連資料を紹介した「アイヌ刀ーエムシ・タンネパイコロ・タクネパイコロー」、当館が所蔵する約14万点の資料の中から学芸員選りすぐりの資料を紹介した「あみゅー大博覧会2022」、地元ゆかりの画家の生誕100周年を記念した「能登正智展 青い風を見つめて」を開催。また、収蔵品展「動物の絵」や中庭展示など、歴史、考古、自然、美術の各分野を融合した地域色豊かな事業を実施しました。

最後になりますが、当館の運営及び各種展示・教育普及事業の実施にご協力を賜りました皆様、展示監視活動に携わっていただきました登録ボランティア及び美術館友の会事業部の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月

苫小牧市美術博物館
館長 藤原 誠



1 事業報告

※全て講師名は敬称略、所属等は令和4年4月現在

(1) 展示事業

①特別展

○トヨタ自動車北海道株式会社創業30周年記念事業「芸術の都ウィーンとデザインの潮流」

令和4年7月16日(土)～8月28日(日)(観覧者数：7,432名)

主催：トヨタ自動車北海道株式会社／苫小牧市美術博物館

協力：愛知県美術館／豊田市美術館／トヨタ自動車株式会社／トヨタ産業技術記念館

後援：苫小牧市／苫小牧市教育委員会／苫小牧商工会議所／苫小牧信用金庫／北海道新聞苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／株式会社三星

展覧会監修：佐藤直樹(東京藝術大学 美術学部芸術学科 教授)

トヨタ自動車北海道株式会社の創業30周年の記念事業として開催した本展では、同社との共催により、愛知県美術館及び豊田市美術館の両館から、19世紀末ウィーンの絵画作品をはじめ、20世紀にかけての家具や調度品といったデザインの優品を拝借。グスタフ・クリムト、エゴン・シーレ、オスカー・ココシュカらの作品を中心に“芸術の都ウィーン”の精華と、そこを起点として花開いた工業デザインの潮流について紹介した。

(関連行事)

7月15日(金) 内覧会 (参加者：31名)

7月16日(土) 開幕記念講演会「芸術の都ウィーンとデザインの潮流」

講師：佐藤直樹(東京藝術大学 美術学部芸術学科 教授) (参加者：50名)

8月6日(土)・8月20日(土)・8月21日(日) スライドトーク (全3回・参加者：103名)

○壁画《芽の出る音》設置50年記念 谷内六郎展

令和4年9月17日(土)～11月6日(日)(観覧者数：3,204名)

主催：苫小牧市美術博物館

特別協力：谷内達子／谷内広美

協力：横須賀美術館／知内町教育委員会／しりうち童画の会

後援：苫小牧商工会議所／苫小牧信用金庫／北海道新聞苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／株式会社三星

令和4(2022)年、画家・谷内六郎(1921～1981)が原画を手掛けた壁画《芽の出る音》が苫小牧市科学センターに寄贈されてから50年を迎えた。これを記念し、本展では、『週刊新潮』の表紙原画など約60点の作品により、谷内六郎の作品世界を紹介した。

(関連行事)

8月27日(土)～9月29日(木)ノスタルジックな昭和の風景～谷内六郎の本～

(会場：苫小牧市立中央図書館)

9月4日(日) およこで楽しむ朗読会(会場：苫小牧市立中央図書館) (参加者：16名)

9月17日(土)～3月12日(日)資料展示 なつかしの昭和(常設展示室2階第2収蔵展示室)

10月29日(土) スライドトーク (参加者：26名)

②企画展

○アイヌ刀ーエムシ・タンネナイコロ・タクネナイコロー

令和4年4月29日(金・祝)～6月26日(日)(観覧者数：3,684名)

協力：苫小牧アイヌ協会

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／株式会社三星

当館にはアイヌ刀関連資料として184点が収蔵されている。しかし、当館にこれだけのアイヌ刀関連資料が収蔵されていることはほとんど知られていない。そこで、これらの資料を知ってもらうこと、アイヌ刀と日本刀の違い、アイヌにとっての刀のありようなどを通してアイヌ文化や和人とアイヌとの繋がりを紹介する展示とした。

(関連行事)

5月7日(土)・6月18日(土) スライドトーク (全4回・参加者：41名)

5月28日(土) 講演会「アイヌ民族の刀帯 その変化と復興のあゆみ」

講師：大坂拓(北海道博物館アイヌ民族文化研究センター 学芸主査)

(参加者：23名)

6月11日(土) 苫小牧アイヌ協会によるリムセ(舞踊) (参加者：35名)

○あみゅー大博覧会2022

令和4年11月26日(土)～令和5年1月15日(日)(観覧者数：2,087名)

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／株式会社三星

当館が収蔵する美術、歴史、考古、自然史の4分野の資料のうち、これまであまり公開されてこなかった資料を中心に、「エピソード」や「学芸員お気に入りの資料」など5つのテーマに分けて約120点を展示した。当館が幅広い分野の資料を多く収蔵していることと、それを収集する意義について紹介する展示とした。

(関連行事)

11月27日(日)・12月3日(土) スライドトーク (全2回・参加者：36名)

12月17日(土)・12月18日(日)※2日間連続の講座 樹脂でつくる生物標本 (参加者：12名)

○生誕100年記念 能登正智展 青い風を見つめて

令和5年1月28日(土)～3月12日(日)(観覧者数：1,950名)

後援：苫小牧信用金庫／北海道新聞苫小牧支社／株式会社苫小牧民報社／株式会社三星

画家・能登正智(1922～2001)は、油彩画、ガラス絵、木版画など多様な表現手法の絵画を制作し、戦後の苫小牧における文化芸術の中心的な人物の一人として活躍した。本展では、令和4年度に生誕100年を迎えることを記念し、初期から晩年にいたるまでの作品を紹介した。

(関連行事)

令和5年2月17日(金) 絵画鑑賞会(共催：苫小牧市美術館友の会) (参加者：20名)

令和5年2月18日(土) スライドトーク「能登正智の油彩・版画・ガラス絵」

(参加者：22名)

③収蔵品展

○動物の絵

令和4年4月29日(金・祝)～6月26日(日)(観覧者数：3,684名)

当館にて随時開催している収蔵品展のうち、今回は、描かれた動物をテーマに、絵画作品を選出した。本展では特に私たちの暮らしになじみ深く、また目にすることも多い身近な動物が描かれた作品を選出し、異なる出自の画家たちによって描かれ、それぞれの心象風景を個性豊かに映し出した動物たちの姿を紹介した。

④中庭展示

○Vol.18 川上りえ「Yet We Keep Seeking for a Balance 2022」

令和4年4月29日(金・祝)～令和5年3月12日(日)(観覧者数：30,753名)

鉄という素材そのものや様々な芸術表現を通して、物事の本質について考察する川上りえ(1961～)。本展では中央から5方向に分岐するアームの先端に受け皿が配され、それぞれ近郊を保つステンレス製の作品を展示した。

⑤他機関連携による展示

○全国都市緑化北海道フェア関連展示

令和4年6月25日(土)～7月24日(日)

会場：当館1階ロビー

○ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 20周年記念展示

令和4年7月23日(土)～8月14日(日)

会場：ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

(2) 教育普及事業

①通年プログラム（登録制の各種プログラム）

○ 美術博物館大学講座(登録者数：86名)

苫小牧や胆振・日高、北海道に関する自然、芸術、歴史の各分野の講師による講演を実施した。

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R4. 6. 4	入学式・「1775-1780年のロシア人による「クリル」列島遠征から見た北海道と千島の歴史」	鈴木 建治 (国立アイヌ民族博物館 研究主査)	82名
R4. 7. 9	「公文書館資料に見る、実現しなかった4つの“札幌オリンピック”」	高井 俊哉 (札幌市公文書館 管理係長)	70名
R4. 8.27	「平成の苫小牧」	福島 修(苫小牧市市史編集事務局)	66名
R4. 9.24	「王子洋画研究会と苫小牧の美術」	本間 弘章 (苫小牧美術愛好会 代表)	70名
R4.10. 8	「化石からひも解く石狩低地帯の成り立ち」	古沢 仁(札幌市博物館活動センター 学芸員)	63名
R4.11. 5	「苫工と教師人生～白球を追いかけて～」	金子 満夫(北海道苫小牧工業高等学校 元教諭)	63名
R4.12.10	「北海道の美術と動物」	今村 信隆(北海道大学大学院文学研究院 准教授)	65名
R5. 1.21	「北海道に漂着する鯨類」	松石 隆(北海道大学水産科学研究院 教授)	65名
R5. 2.25	「「書」の楽しみ方」・卒業式	沖津 かな(当館主任学芸員)	71名

○ 子ども広報部「びとこま」(共催：NPO法人樽前artyプラス 登録者数：16名)

小中学生の子ども記者を募集し、展覧会の取材、撮影・記事作成を指導し、子ども広報紙「びとこま」を発行した。

令和4年5月～令和5年3月(年8回実施) 子ども広報紙発行：1回 総参加者数：150名

○ 古文書解読講座(対象：高校生～大人 登録者数 初級編：20名 中級編：21名)

古文書解読にあたり必要なくずし字解読の基礎や古文書から歴史を読み解き、歴史に親しんでもらうための講座を行った。

(初級編)12月24日(土)、25日(日)、1月15日(日)、29日(日)、2月12日(日)

(中級編)9月3日(土)、4日(日)

総参加者数：139名 講師：佐藤 麻莉(当館学芸員)

○ 考古学講座(対象：高校生～大人)

土器や石器、骨角器などについて実際の資料を交えて、考古学をより深く知ってもらうための講座を行った。

12月4日(日)、1月22日(日)、2月19日(日)

総参加者数：78名 講師：岩波 連(当館学芸員)

②体験プログラム（一般申込型普及事業）

○美術博物館祭2022 8月6日(土)～8月7日(日)(参加者数：1,068名)

2016年度よりアートフェスティバルと同時期に実施してきた本事業は、制作体験や学びを通して、当館の活動に親しむことを目的とするものである。3年振りの実施となった今回は、札幌在住の美術家・武田浩志を講師に迎え、自分の好きな雑誌や漫画などに溶剤を塗り、木製ボードに転写する体験ワークショップを実施するほか、消しゴムはんこなどを用いて、色とりどりのうちわをデザインするプログラム等を実施した。

○ミュージアムラボ（対象：小学生～一般）

体験を通して自然、歴史や美術に親しむ行事を実施した。

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R4. 8.11	ワイヤーアートで作ろう！ バランスオブジェ	川上 りえ	16名
R4.10. 2	紙ぞうり編み	佐藤 麻莉（当館学芸員）	5名
R5. 1. 9	書初め	沖津 かな（当館学芸員）	9名

○無料観覧日

5月5日は参加型イベントを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため無料観覧と展示事業のみの実施とした。

日 時	内 容	実施内容	参加者
R4. 5. 5	ゴーゴーミュージアム	イベントは中止し観覧のみとした	499名
R4.11. 3	あみゅー秋のサンクスデー	「あみゅーで謎解き 2022」、「最新！発掘調査成果展示」、「撮影スポットコーナー」、「モザイク画 工作キット」の配布など	815名

○歴史見学会「苫小牧 牛馬の足跡」

苫小牧における牛馬の歴史を学ぶ街歩きを実施した。

5月28日(土) 参加者：18名

○自然観察会「トンボの採集と標本づくり」

ウトナイ湖に生息するトンボの採集と標本づくりを、子ども広報部「びとこま」の登録者を対象に行った。製作した標本は企画展「あみゅー大博覧会2022」で展示した。

9月10日(土) 参加者：18名

○遺跡報告会

令和4年度に行った遺跡調査の概要を報告した。

3月5日(日) 参加者：17名

③学校連携プログラム

○郷土学習 (対象：市内小学校22校3・4年生)

小学校社会科副読本「のびゆく苦小牧」と連動させた展示や資料を活用した学習を新型コロナウイルス感染拡大防止に留意した上で実施した。

9月～12月 受講児童：1,329名(ほか教職員80名)

○教員のための博物館の日 (共催：国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会)

協力：苦小牧市教育研究所)

(対象：苦小牧市及び周辺地域の教員等)

当館の機能や資源を知ってもらうことを目的に、日頃館を利用することの少ない教職員に授業で館を活用するための情報を研修という形で提供した。

8月5日(金) 参加教員：33名

○アウトリーチ事業 みゅーじあむ in スクール

苦小牧出身の画家・加藤広貴を講師に迎え、対話による美術の鑑賞活動を市内小中学校で行った。

11月4日(金) 苦小牧市立苦小牧西小学校6年生

12月2日(金) 苦小牧市立清水小学校6年生 受講者：合計52名

○総合学習・職場体験

10月12日(水) 苦小牧市立苦小牧東中学校

10月19日(水) 苦小牧市立青翔中学校

10月28日(金) 苦小牧市立光洋中学校

12月1日(木) 苦小牧市立明野中学校 受講者：合計15名

○学芸員実習の受入

学芸員資格取得のための実務実習を実施した。

8月18日(木)～27日(土)のうち8日間

実習生：5名 受入先：明治大学、札幌大学、北翔大学、北洋大学

④その他の教育普及事業

○出前講座

日時	団体	演題	対応学芸員	参加者
R4.11.22	長生大学	苦小牧の歴史	小杉 宇海	18名
R4.12. 8	げんき倶楽部	苦小牧の歴史	小杉 宇海	13名
R4.12.11	みらいづくりハマ遊の会	苦小牧の歴史	佐藤 麻莉	6名
R5. 2. 2	コープさっぽろ	苦小牧の歴史	佐藤 麻莉	40名
R5. 2. 9	苦小牧ライオンズクラブ	苦小牧の美術	細矢 久人	13名
R5. 2.28	澄川総合福祉会館	苦小牧の歴史	小杉 宇海	27名

○講師派遣・総合学習

日 時	団 体	演 題	対応学芸員	参加者
R4. 4.24	苫小牧郷土文化研究会	歴史資料にみるユウフツ	佐藤 麻莉	36名
R4. 6.26 R4. 7. 3	苫小牧市環境生活課	自然観察バスツアー	江崎 逸郎	40名
R4. 7.23	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター	ウトナイ湖を取巻く環境	江崎 逸郎	30名
R4. 8.31	泉野小学校6年2組親子レクリエーション	身近な自然を学ぶフィールドビンゴ	江崎 逸郎	51名
R4.10. 9	出光興産株式会社北海道製油所	野鳥の教室	江崎 逸郎	15名
R4.11. 5	文化財発見ツアー	静川遺跡について	岩波 連	26名
R5. 1.26	ウトナイ小学校3年生	かわる道具とくらし	佐藤 麻莉 小杉 宇海	141名
R5. 2. 1	拓進小学校3年生	かわる道具とくらし	佐藤 麻莉 小杉 宇海	129名
R5. 2. 8	沼ノ端小学校	かわる道具とくらし	佐藤 麻莉 小杉 宇海	52名
R5. 3. 5	北海道博物館	ウトナイ湖・勇払原野の野鳥と自然	江崎 逸郎	66名

○苫小牧市アイヌ政策推進事業

日 時	内 容	講 師 名	参加者
R4. 5.28	アイヌ民族の刀帯 その変化と復興の歩み	大坂 拓(北海道博物館 学芸主査)	23名
R5. 3.18	私が聞いたアイヌの物語	大谷 洋一(北海道博物館 研究職員)	47名

(3) 資料の収集・保存

①資料の増加状況（過去5年分）

年度	考 古	歴 史	民 族	自 然	芸 術	合 計
H30	(0) 45,204	(6) 49,658	(0) 1,805	(0) 42,375	(1) 1,519	(7) 140,561
R 元	(0) 45,204	(2) 49,660	(0) 1,805	(0) 42,375	(4) 1,523	(6) 140,567
R 2	(0) 45,204	(2) 49,662	(0) 1,805	(91) 42,466	(0) 1,523	(93) 140,660
R 3	(0) 45,204	(47) 49,709	(0) 1,805	(0) 42,466	(200) 1,723	(247) 140,907
R 4	(0) 45,204	(0) 49,709	(0) 1,805	(6) 42,472	(3) 1,726	(9) 140,916

※（ ）内は、各年度における資料の増加点数

②寄贈資料

月日	資料名	数量	分類
R4. 4.26	昆虫標本(外国産蝶類)	6点	自然史
R5. 3.31	画家・遠藤ミマン制作の絵画	3点	美術

③利用状況

資料調査

申請元	資料	利用目的(方法)	調査日
北海道博物館	タマサイ・シトキ141点	アイヌ民具調査(撮影・計測・熟覧)	R4.5.10～ 5.13
(公財)アイヌ民族 文化財団	アイヌ民族資料 4点	令和4年度アイヌ工芸品展「アトゥ イー海と奏でるアイヌ文化」に係る 資料調査(撮影・熟覧)	R4.6.4
東海大学	弁天貝塚出土資料 (オオタニシ)	北海道におけるタニシ類の考古学的 生息状況調査(観察・撮影・報告書の 閲覧)	R4.6.18
個人	苫小牧市産 蘇苔類標本34種	個人で収集した蘇苔類標本と比較し、 種の同定を検討するため(観察)	R4.8.13
函館大学	タマサイ・シトキ3点	科学研究費基盤事業(B)「サハリンア イヌの交易と文化変容、その学際的研 究」のため(撮影・計測・熟覧)	R4.9.18
函館大学	タマサイ・シトキ3点	科学研究費基盤事業(B)「サハリンア イヌの交易と文化変容、その学際的研 究」のため(撮影・計測・熟覧)	R4.10.22
北海道博物館	鳥類標本・植物立体乾 燥標本・タマサイ一式	北海道博物館主催企画展のための調 査	R4.11.9
東京文化財研究所	柏原5遺跡ほか出土資 料	報告書『ものの記憶 読み解き 伝え 遺す』掲載のため(撮影)	R5.1.25～ 1.28

館外貸出

申請元	資料	利用目的	貸出期間
(公財)北海道埋 蔵文化財センター	美沢東遺跡出土土器2点	北海道埋蔵文化財センター企画 展「北海道・北東北の縄文遺跡 群」に展示	R4.6.20～ 10.8
八戸市埋蔵文化 財センター是川 縄文館	柏原4遺跡出土資料ほか 14点	夏季特別展「行きかう土器とヒ トー是川縄文館・弘前大学共同 研究展示ー」に展示	R4.6.14～ 9.15
白老町教育委員 会	御通輩沿道畧圖1冊	令和4年度仙台藩白老元陣屋資 料館企画展「白老の駅通展」に 展示	R4.7.12～ 8.19

申請元	資料	利用目的	貸出期間
ウトナイ湖野生鳥獣保護センター	鳥類標本14点	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 20周年記念展示で展示のため	R4.7.23 ~ 8.14
石川県立歴史博物館・小樽市総合博物館・(公財)アイヌ民族文化財団	杯(トゥキ)1点、天目台(ウクスブ)1点、捧酒篋(イクパスイ)3点	令和4年度アイヌ工芸品展「アトゥイー海と奏でるアイヌ文化」に展示	R4.8.31 ~ R5.3.12
北海道博物館	鳥類標本および植物標本21点	北海道博物館第20回企画テーマ展「もっと！あっちこっち湿地～自然と歴史をめぐる旅～」に展示	R5.2.25 ~ 5.28

館外貸出以外の利用（データ提供、複写、模写等）

申請元	資料	利用目的	方法
株式会社 マッグガーデン	当館外観・内観・展示物写真	漫画作品「ニヤイト・オブ・ザ・リビングキャット」に登場する建物のモデルとして参考にするため	データ提供・館内撮影
個人	白布切抜文衣	朝日新聞「朝日ファミリークラブ」への寄稿文に使用	データ提供
王子ホールディングス株式会社	王子軽便鉄道写真	(一財)日本緑化センターの出版物「グリーン・エージ」8・9月合併号に掲載	データ提供
北海道大学 苫小牧研究林	当館常設展示写真	冊子「IBURI DOT SITE.」に掲載	館内撮影
株式会社 チューエツ	マンモスの親子画像	富山県中学校 第1学年社会科学力調査問題に使用	データ提供
株式会社 ジャンプコーポレーション	「昭和38年 沼ノ端・勇払」「昭和51年 沼ノ端・勇払」写真	「ポツンと一軒家」VTR中のインサートの画として使用	データ提供
NHKメディア総局	絵はがき「苫小牧町停車場通りノ景」大正11年	NHK「ブラタモリ 苫小牧」にて使用	データ提供
株式会社 ジャンプコーポレーション	「勇払原野の写真」2点	「ポツンと一軒家」VTR中のインサートの画として使用	データ提供
朝日新聞社 北海道報道センター	イクパスイ画像1点	朝日新聞夕刊のコラムにて紹介	データ提供
(一財)日本野球機構	1960年6月15日開催、苫小牧市営球場での巨人対大洋8回戦の写真2点	「球跡巡り」（理工図書株式会社）にて紹介	データ提供
北海道新聞 苫小牧支社	苫小牧港の写真 7点	北海道新聞胆振版「苫小牧港60周年特集」に掲載	データ提供

申請元	資料	利用目的	貸出日
サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	マンモスの親子 画像	教科書「社会科 中学生の歴史」(帝国書院)に掲載	データ提供
株式会社バーグハンバーグバーグ	当館外観写真・煙草入れ(タンパクオブ)写真	WEBサイト「オモコロ」に掲載	データ提供
個人	大日本職業別明細図、開月楼看板	「苫小牧郷土文化研究会 令和4年度年報」に掲載	データ提供
JCOM株式会社	当館外観、マンモスの親子、丸木舟 画像	「地域発!ど・ろーかるNEWS」にて使用	データ提供
個人	岡沼淳一《作品》(1970年制作、1980年制作、1990年制作) 3点	個人観賞のため	写真送付
北海道新聞 苫小牧支社	苫小牧港の写真 7点	北海道新聞全道版「サタデーどうしん」に掲載	データ提供
ABCリブラ	苫小牧港の写真 2点	BS朝日放送「魚が食べたい」にて使用	データ提供

(4) 調査・研究活動

学芸員がテーマごとに資料収集・調査研究を実施した。

氏名	分野	研究テーマ
細矢 久人	美術	苫小牧および北日本における近現代美術
江崎 逸郎	自然史	樽前山及び勇払原野一帯の生物相とその変遷
沖津かんな	書	苫小牧および北海道の書道史
立石絵梨子	美術	日本近現代美術、美術館教育
岩波 連	考古	動物考古学、アイヌ考古学
佐藤 麻莉	歴史	日本近世史、北方史
小杉 宇海	歴史	日本近世史、昭和史
岡本 直樹	考古	縄文時代の墓制

(5) 広報・CS向上

①印刷物の発行

逐次刊行物

年報第9号、紀要第8号、美術博物館だより第10号を発行した。

その他印刷物

年間スケジュール1件、各種展示会の広報印刷物、企画展「あみゆー大博覧会2022」展示報告書、企画展「生誕100年記念 能登正智展」展覧会図録、トヨタ自動車北海道創業30周年記念事業 特別展「芸術の都ウィーンとデザインの潮流」活動報告書、広報紙「びとこま」32号を作成した。

②各展覧会におけるポスター・チラシの配布

特別展・各企画展においてポスター・チラシを作成し、市内外に郵送もしくは手持ちで配布した。

③美術博物館公式HPの運営

常に最新の情報が掲載されるように展覧会・行事ごとに随時更新し、情報を発信した。

④美術博物館公式Facebookの運営

現在は週2～3回ほど更新し、展覧会や行事の案内のほか、常設展示や展覧会の見どころも写真を添えて紹介した。(フォロワー数：477人)

⑤美術博物館公式Twitterの運営

Facebookと同様の内容で更新した。(フォロワー数：1,090人)

⑥苫小牧市公式LINEの活用

苫小牧市民の登録者が多いLINEを利用し、展覧会情報等を発信した。

⑦ブログ「学芸員の生きもの情報ブログ」を開設

自然史分野の事業や苫小牧で見られる季節の生物を紹介するなど、情報を発信した。

(6) 市民協働

①市内の歴史、美術等に関連のある団体を当館の登録団体として支援、協働を行った。

- ・苫小牧市博物館友の会の会議や講座開催時の会場提供を行った。
- ・苫小牧市美術館友の会の事務局会議の会場提供、会議の出席等を行った。
- ・郷土文化研究会の会議会場の提供、市民公開講座への協力、会議の出席等を行った。
- ・苫小牧縄文会の総会や講演会場の提供を行った。

②ボランティア研修事業 (登録者数：41名、総参加者数：106名)

特別展、企画展のレクチャー、バス研修など研修会を6回実施した。

4月29日(金)、7月15日(金)、9月16日(金)、10月23日(日)、11月25日(金)、1月27日(金)

(7) 埋蔵文化財の保護

市内の開発工事(各種開発確認・開発区域詳細)に伴う遺跡の有無を確認するための調査
遺跡パトロールの実施

文化財保護法に基づく事前協議・調査・立会 15件

遺跡の所在に関する問合せの対応 87件

市内遺跡発掘調査等事業の実施

宮の森市道試掘調査 4月19日(火)

糸井地区試掘調査 7月12日(火)～7月13日(水)

苫東柏原地区試掘調査 9月1日(木)～9月30日(金)

(8) 展示室貸出事業

NYANXI展 令和5年3月23日(木)～25日(土) 来館者数：669名

美術館友の会「我が家の所蔵作品展 Part3」 3月21日(火・祝)～26日(日)

来館者数：874名

ブルスカウスキー静香「OFF GRID 旅したくなるフォト展

by SHIZUKA BLASKOWSKY」 3月26日(日)～4月1日(土) 来館者数：406名

佐藤静子「パンタ・レイ展」 3月28日(火)～4月1日(土) 来館者数：508名

苫小牧美術協会 春季展 4月4日(火)～4月8日(土) 来館者数：470名

(9) 大会への参加事業・研修

北海道博物館大会 7月14日(木)、15日(金) 士別市 欠席(特別展内覧会と重複のため)

日胆地区博物館協議会 総会 5月25日(水)白老町 参加(藤原・沖津・小杉・岡本)
研修会 11月11日(金)日高町 参加(藤原・岡本)

北海道美術館学芸員研究協議会 3月2日(木)、3日(金)札幌市 参加(細矢)

全国美術館会議 学芸員研修会 3月20日(月) オンライン参加(細矢)

アイヌ文化ネットワークオンライン研修会 11月10日(木) オンライン参加(小杉・岡本)
11月11日(金)白老町 参加(岩波・小杉)

(10) 市史編纂事業

事務局会議、ワーキンググループ会議を実施した。

担当(兼務)：藤原 誠、佐藤 麻莉、小杉 宇海

2 入館者

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	大人	1,102	1,940	1,528	3,303	6,007	1,521	1,991	2,123	951	1,049	1,328	3,379	26,222
	高大	11	44	42	43	115	29	16	34	7	16	19	80	456
	小中	236	385	230	380	868	370	882	504	124	134	77	354	4,544
	幼児	100	169	75	202	462	133	192	241	79	64	73	222	2,012
	小計	1,449	2,538	1,875	3,928	7,452	2,053	3,081	2,902	1,161	1,263	1,497	4,035	33,234
団体	大人	0	1	0	30	17	38	48	76	43	0	119	15	387
	高大	0	10	0	0	0	0	22	9	0	0	0	0	41
	小中	0	0	0	77	28	213	521	277	318	0	0	0	1,434
	幼児	0	0	0	0	46	0	0	2	0	0	29	0	77
	小計	0	11	0	107	91	251	591	364	361	0	148	15	1,939
合計	1,449	2,549	1,875	4,035	7,543	2,304	3,672	3,266	1,522	1,263	1,645	4,050	35,173	

※特別展、教育普及事業参加者等を含む。

※展覧会関連事業、教育普及事業参加者は個人に含む。ただし、郷土学習は団体参加者に含む。

3 令和4年度決算

(1) 歳入

区 分	予算現額	決算額	説 明
使用料（入館料）	3,003,000	3,001,880	常設・企画展観覧料 2,171,180 特別展観覧料 830,700
使 用 料 （行政財産使用料）	138,000	316,477	展示室・設備使用料 266,786 自動販売機電気使用料 49,691
受 講 料	130,000	110,500	美術博物館大学講座 110,500
社 会 教 育 費 金 国 庫 補 助 金	2,162,000	1,270,000	遺跡発掘調査事業費 1,270,000
ア イ ヌ 政 策 金 推 進 交 付 金	862,000	808,424	アイヌ文化関連展示整備事業 808,424
市民文化芸術振興 基 金 繰 入 金	4,499,000	4,342,731	市民文化芸術振興基金繰入金 4,342,731
雑 入	1,866,000	1,779,614	図録販売収入 136,300 特別展監視員負担金 1,643,314
合 計	12,660,000	11,624,626	

(2) 歳出

区 分	予算現額	決算額	説 明	
報 酬	153,000	109,800	美術博物館協議会委員経費 113,620	
報 償 費	425,000	191,000	美術博物館管理運営経費 30,692,205	
旅 費	1,331,000	1,038,800	{ <ul style="list-style-type: none"> 燃料費 4,148,509 光熱水費 5,882,524 管理運営委託料 16,396,893 その他管理運営費 4,264,279 	
需 用 費	21,601,000	19,621,729		
役 務 費	1,083,627	1,041,675		美術博物館活動及び調査研究経費 3,684,364
委 託 料	29,379,000	27,663,659		勇武津資料館管理運営経費 4,966,909
使 用 料 及 び 賃 借 料	1,191,373	970,713	{ <ul style="list-style-type: none"> 燃料費 198,726 光熱水費 461,322 管理運営委託料 2,639,731 その他管理運営費 1,667,130 	
原 材 料 費	6,000	4,158		遺跡発掘調査等事業費 1,642,652
備 品 購 入 費	273,000	272,800		美術博物館企画展示事業費 4,289,002
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	84,000	83,000		美術博物館特別展事業費 4,255,571 美術博物館祭事業費 342,731 アイヌ文化関連展示整備事業費 1,010,280
合 計	55,527,000	50,997,334		

4 令和5年度予算

(1) 歳入

区 分	当初予算額	説 明	
使 用 料	3,003,000	観覧料 特別展観覧料	1,753,000 1,250,000
行政財産使用料	138,000	展示室・設備使用料 自動販売機電気使用料	103,000 35,000
受 講 料	130,000	美術博物館大学講座受講料	130,000
社会教育費 国庫補助金	1,391,000	遺跡発掘調査等事業費	1,391,000
アイヌ文化 推進交付策 金	788,000	アイヌ文化関連展示整備事業費	788,000
雑 入	240,000	企画展図録販売収入	240,000
市民文化芸術振興 基金繰入金	4,498,000	市民文化芸術振興基金繰入金	4,498,000
特別展共催負担金	12,320,000	特別展共催負担金	12,320,000
一 般 財 源	49,944,000		
合 計	72,452,000		

(2) 歳出

区 分	当初予算額	説 明		
報 酬	153,000	美術博物館協議会委員経費	160,000	
報 償 費	330,000	美術博物館管理運営経費	36,771,000	
旅 費	1,905,000	{ <ul style="list-style-type: none"> 燃料費 4,749,000 光熱水費 6,537,000 管理運営委託料 21,175,000 その他管理運営費 4,310,000 		
需 用 費	20,844,000			
役 務 費	1,980,000		美術博物館活動及び調査研究経費	3,323,000
委 託 料	45,487,000		勇武津資料館管理運営経費	3,242,000
使 用 料 及 び 借 賃 料	1,248,000	{ <ul style="list-style-type: none"> 燃料費 247,000 光熱水費 439,000 管理運営委託料 2,080,000 その他管理運営費 476,000 		
原 材 料 費	6,000		遺跡発掘調査等事業費	2,783,000
備 品 購 入 費	415,000	美術博物館企画展示事業費	4,104,000	
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	84,000	美術博物館特別展事業費	5,611,000	
		美術博物館祭事業費	498,000	
		アイヌ文化関連展示整備事業費	985,000	
		出光美術館名品選	14,975,000	
合 計	72,452,000			

5 施設の概要

(1) 沿革

- 昭和35年 6月 市立苫小牧図書館に郷土博物室設置
- 45年 1月 苫小牧市青少年センターを建設し、博物展示部門・科学展示部門設置
- 48年 11月 苫小牧百年を記念して、郷土博物館建設方針決定
- 12月 郷土博物館資料収集調査委員会設置
- 56年 11月 苫小牧市博物館基本構想(案)がまとまり、建設準備委員会を設置
- 57年 1月 建設準備委員会で埋蔵文化財調査センターの併設を審議
- 58年 3月 博物館建設の基本計画決定
- 11月 建築工事着工
- 59年 11月 展示工事着工
- 60年 11月 開館、第1回特別展「苫小牧地方の有形文化財」開催
- 61年 3月 第1回博物館協議会開催
- 62年 7月 博物館・埋蔵文化財調査センター、昭和62年度建築業協会賞受賞
- 63年 7月 常陸宮両殿下来館、博物館友の会設立
- 9月 第12回特別展「陶磁の東西交流展」開催
- 平成元年 6月 入館者10万人達成
- 9月 高円宮両殿下来館、郷土学習開始
- 2年 8月 開館5周年記念第18回特別展「紙の文化史展」開催
- 3年 7月 第30回北海道博物館大会開催
- 4年 9月 入館者20万人達成
- 5年 2月 第25回特別展「マオリ文化展」開催
- 6年 12月 平成6年度北海道博物館活動交流推進会議開催
- 7年 7月 開館10周年記念特別展「大昔の苫小牧～よみがえる古代人のくらし～」開催
- 8年 3月 「二つの島のかげはし～苫小牧市博物館所蔵品展～」をニュージーランドネーピア市ホークスベイ博物館にて開催。同月、入館者30万人達成
- 9年 5月 日胆地区博物館等連絡協議会設立総会開催
- 10年 5月 とまこまい市制50周年記念「シャガールとパリの画家たち展」開催
- 7月 とまこまい市制50周年記念「出光美術館所蔵ジョルジュ・ルオー展」開催
- 11年 8月 第43回特別展「日光東照宮宝物展～姉妹都市日光の横顔～」開催
- 12年 8月 第44回特別展「八王子千人同心と幕末の勇武津」開催
- 13年 9月 21世紀記念事業「名品にみる武家の美と心～文化人井伊直弼の世界」開催
- 14年 8月 苫小牧市民文化芸術振興条例制定記念事業、トヨタ自動車北海道(株)創業10周年記念事業「印象派とその歩み展～感じたままに 瞬間を描く～」開催
- 15年 7月 第47回特別展「川上澄生の世界～南蛮文化・文明開化・苫小牧～」開催
- 16年 4月 トヨタ自動車北海道(株)「東京藝術大学に集った画家たち展」開催
- 7月 第48回特別展「砂田友治の画業～人間賛歌の造形をめざして～」
- 17年 8月 開館20周年記念特別展「のぞいてみよう恐竜時代～クビナガリュウが見た北海道～」開催
- 平成18年 1月 浩宮皇太子殿下下来館
- 7月 第50回特別展「昭和のくらし～我が家にテレビが来たころ～」開催

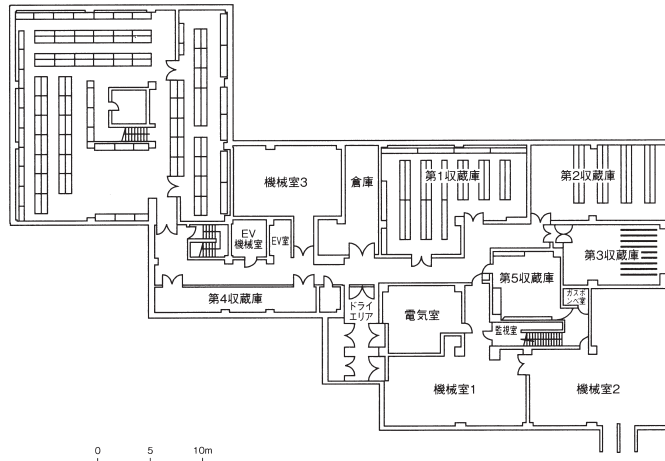
- 9月 出光美術館所蔵「中国・滋州窯～なごみと味わい～」開催
- 19年 7月 第51回特別展「マッチ・ワンダーランド～歴史・デザイン・喫茶店文化～」開催
- 9月 トヨタ自動車北海道(株)創業15周年記念「エコール・ド・パリ～パリを愛した画家たち展」開催
- 20年 2月 入館者60万人達成
- 9月 市制60周年記念出光美術館所蔵「板谷波山展」開催
- 21年 7月 第53回特別展「縄文美の極み～亀ヶ岡文化～」開催
- 22年 8月 開館25周年記念特別展「紙をつくる 紙でつくる」開催
- 23年 7月 ウトナイ湖ラムサール条約登録記念特別展「鳥の世界」開催
- 24年 7月 トヨタ自動車北海道(株)創業20周年記念
「光から夢をたどって～印象派からエコール・ド・パリまで」開催
- 24年 8月 改修工事のため休館
- 25年 4月 博物部門常設展再オープン
- 25年 7月 苫小牧市美術博物館開館、開館記念特別展「出光美術館所蔵美術展」開催
- 26年 7月 開館1周年記念特別展「青森県立美術館コレクション展～アオモリ・アヴァンギャルド：堆積する創造のエネルギー」開催
- 27年 9月 特別展「花ひらく近代洋画の世界」開催
- 28年 7月 開館3周年記念特別展「Art and Air 一空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」開催
- 29年 7月 特別展「トヨタ自動車北海道株式会社25周年事業 水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」開催
- 9月 特別展「柳原良平の海・船・港」開催
- 30年 7月 特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」開催
- 令和元年 7月 特別展「第一洋食店の100年と苫小牧」開催
- 令和2年 7月 特別展「生誕100年 | ロボットと芸術～越境するヒューマノイド」開催
- 令和3年 7月 特別展「発掘された日本列島2021」開催
- 令和4年 7月 特別展「トヨタ自動車北海道株式会社創業30周年記念事業 芸術の都ウィーンとデザインの潮流」開催
- 9月 特別展「壁画《芽の出る音》設置50年記念 谷内六郎展」開催

(2) 施設見取り図・概要

構 造 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上2階
 建築面積 2,111.24㎡ 延床面積 5,188.82㎡

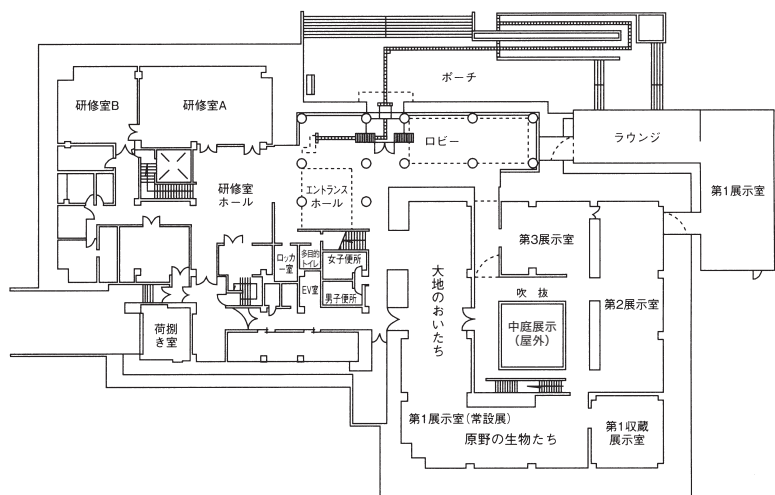
地下

室 名	面積(㎡)
倉 庫	45.16
収蔵庫(第1～3)	303.72
第5収蔵庫	45.16
そ の 他	1064.14
(小 計)	1458.18



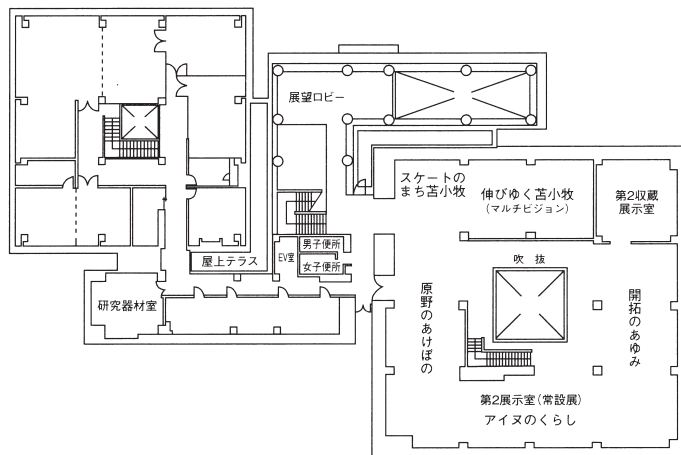
1階

室 名	面積(㎡)
常設展示室	349.44
第1収蔵展示室	75.51
第1展示室	150.51
第2展示室	176.54
第3展示室	82.26
中庭展示(屋外)	(45.16)
ラウンジ	80.42
研修室ホール	86.39
研修室A	93.7
研修室B	70.8
事務室	39.1
荷捌き室	71.8
そ の 他	832.58
(小 計)	2,109.05



2階

室 名	面積(㎡)
常設展	623.68
第2収蔵展示室	74.82
マルチビジョン室	106.69
研究室	71.49
研究機材室	45.43
展望ロビー	75.25
そ の 他	624.23
(小 計)	1,621.59



(3) 組 織 (令和4年4月1日現在)

①美術博物館協議会委員

会 長 揚妻 直樹 (北海道大学苦小牧研究林 林長)
副会長 林 廣志 (苦小牧写真連盟 会長)
委 員 居島恵美子 (苦小牧市美術館友の会 事務局次長)
金田 正弘 (苦小牧市博物館友の会 副会長)
菊地 綾子 (フリーランスライター (市民公募))
斎野伊知郎 (苦小牧郷土文化研究会 会長)
鈴木亜沙美 (苦小牧市PTA連合会 副会長)
田中 雅子 (苦小牧市立植苗中学校 校長)
山形 知憲 (苦小牧市立拓進小学校 校長)
山田 利一 (北洋大学 教授 (市民公募))

②職 員

館 長	藤原 誠
主 査 (再任用)	遠藤 久雄
主 査 (美術)	細矢 久人
主 査 (自然史)	江崎 逸郎
主任学芸員 (書)	沖津かんな
学芸員 (美術)	立石絵梨子
学芸員 (考古)	岩波 連
学芸員 (歴史)	佐藤 麻莉
学芸員 (歴史)	小杉 宇海
学芸員 (考古)	岡本 直樹
受 付 (会計年度任用職員)	長谷川一枝
	吉村みどり
	阿部 幸子

設備管理・清掃 (委託)

苫小牧市美術博物館 年報

第10号（令和4年度）

（ 苫小牧市博物館 館報 通算21号 ）
（ 苫小牧市博物館 年報 通算38号 ）

発行日 令和5年6月
編集・発行 苫小牧市美術博物館
〒053-0011
北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL 0144(35)2550
FAX 0144(34)0408
印刷 (株)とまみん印刷センター